

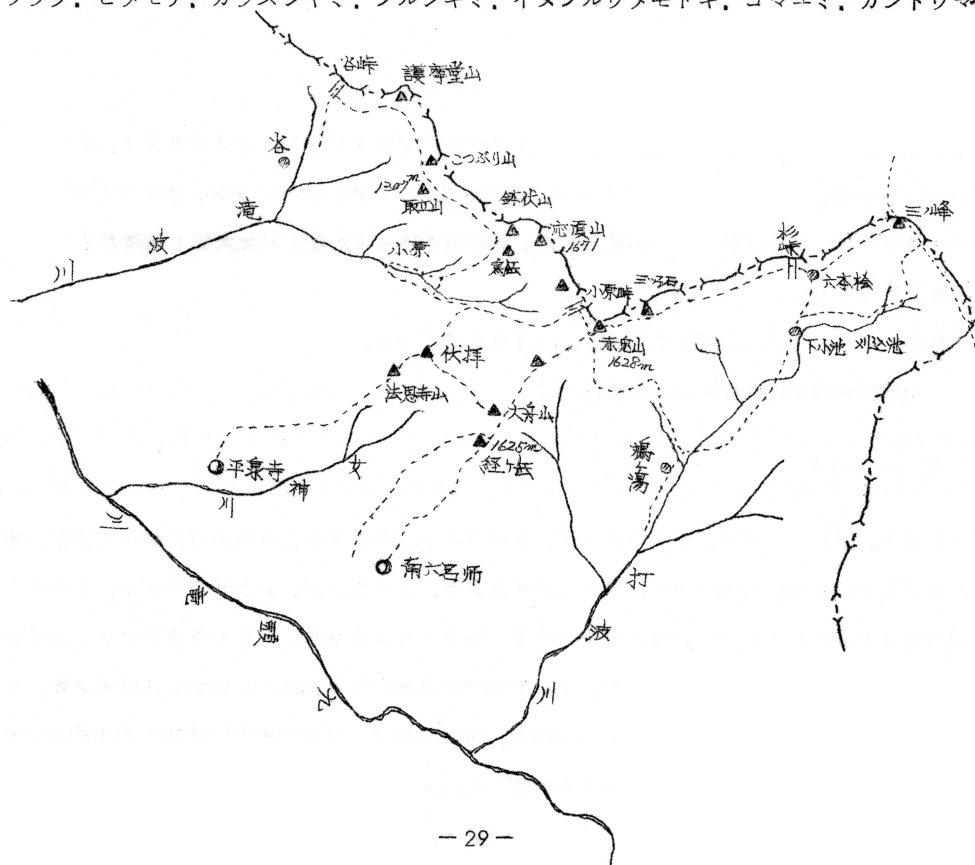
三の峯～杉峠～赤兎山～経ヶ岳産集記

羽水高校 渡辺 定路

1967年10月8・9・10日の3日間国体コースの植物調査に参加したのでその結果を報告します。三の峯の植物については会報ですでに報告してあるので、今回は三の峯～六本檜～山越跡の新道の植物だけにとどめます。

〔木 本 類〕

アオモリトドマツ、ミネカエデ、オガラバナ、ヒロハツリバナ、ナナカマド、ダケカンバ、ヒロハヨノミ、ムシカリ、アカミノイヌツゲ、イチイ、ホンドミヤマネズ、ヤハズハンノキ、オオバスノキ、クロウスゲ、ミヤマシグレ、オオコメツツジ、サラサドウダン、ヒメハナヒリノキ、ハクサンシヤクナゲ、ブナ、ヒメコマツ、ホツツジ、コシアブラ、オオバクロモジ、センノキ、ミヤヤガマズミ、コバノガマズミ、ヤマウルシ、オオコメツツジ、コヨウラクツツジ、ウラジロヨウラク、ヒメモチ、カラスシヤミ、ツルシキミ、イヌツルウメモドキ、コマユミ、カントウマ



ユミ、ミヤマカワラハンノキ、ホオノキ、ツリバナ、イタヤカエデ、キブシ、ケナシヤブデマリ、ヤマモミジ、ツノハシバミ、ウリハダカエデ、マルバマンサク、ミヤマハハソ、ハイイヌガヤ、クロズル、コバシジノキ

〔草本類〕

リンネソウ、ハナイカリ、イワセントウソウ、ハクサンタイゲキ、ハクサンフウロ、ヒトツバヨモギ、ゼンテイカ、ミヤマシヤジン、ヒメシヤジン、ヨシバヒヨドリ、ヨツバシオガマ、エゾシオガマ、タテヤマオウギ、チヨウジギク、タテヤマウツボ、オオニガナ、オヤマリンドウ、エゾリンドウ、エゾオヤマリンドウ、シナノオトギリ、ミヤタニワタシ、シナノキンバイ、ミヤマダイコンソウ、ハクサンカメバヒキオコシ、テガタチドリ、ハクサンチドリ、キソチドリ、タカネナデシコ、タカネマツムシソウ、ミヤマウイキヨウ、ハクサンボウフウ、モミジカラマツ、シラネニンジン、オオカサモチ、ハクサントリカブト、コイチヨウラン、オオハナウド、ゴゼンタチバナ、マイズルソウ、ノリクラアザミ、カガノアザミ、トチバニンジン、ナガエコナスビ、クロバナヒキオコシ、オオハナウド、ヒカゲミツバ、ミズバシヨウ（六本檜と山越跡の間）

〔羊齒類〕

オオバシヨリマ、カラクサイノデ、ミヤマメシダ、シラネワラビ、シノブカグマ、ミヤマノキシノブ、ナガオノキシノブ、ホテイシダ、ジユウモンジンダ、ヤマソテツ、サトメシダ、カラクサイヌワラビ、クサソテツ、等が見られた。朝は雨が降って心配された天気も秋晴れとなり、快適な1日であった。

9日、今日の行程は山越跡から赤兎山の赤池までである。

「山越跡～六本檜～杉峠～よろろ山」

〔木本類〕

ヒノキ、クロベ、ブナ、コミネカエデ、ヤマウルシ、ホツツジ、タムシバ、コシアブラ、オオバスノキ、ハクサンシヤクナゲ、アカミノイヌツゲ、ノリウツギ、ムラサキヤシホ、ミヤマウラジロツツジ、エゾユズリハ、マルバマンサク、ウラジロヨウラク、コヨウラクツツジ、リョウブハウチワカエデ、コハウチワカエデ、タンナサワフタギ、アカモノ、イワナシ、ホオノキ、イヌツゲ、ミズナラ、ナナカマド、ツノハシバミ、ツタウルシ、ツルシキミ、ウワミズザクラ、オオバクロモジ、ミヤマシグレ、ウリハダカエデ、センノキ、ミヤマハハソ、ミズキ、コマユミ、

オオハナヒリノキ、サルナシ、ヒロハツリバナ、イワガラミ、アクシバ、ミネカエデ、オオコメツツジ、ツルツゲ、クロウスゴ、キヤラボク、このコースは大部分が典型的なブナの原生林であるが山越跡の上の方、杉峠近くで今伐採しているのは誠に遺憾である。

〔 草 本 類 〕

ユキザサ、オオバニキザサ、エゾシロネ、クルマバハグマ、マイズルソウ、ツバメオモト、ミツババイカオウレン、ミツバオオレン、エゾリンドウ、ノギラン、オオカニコウモリ、オオアキギリ、イワカガミ、イワウチワ、タマガワホトトギス、ゴゼンタチバナ、カリヤス、ハイタムラソウ、コミヤマカタバミ、ミヤマカタバミ

〔 羊 歯 類 〕

ヤマソテツ、ホソバトウゲシバ、シノブカグマ、マンネンスギ、ミヤマシケシダ、ヤマドリゼンマイ、カラクサイヌワラビ、サトメシダ、ケヒメワラビ、

〔 三ツ子石～赤池 〕

〔 木 本 類 〕

クロウスゴ、ホンドミヤマネズ、ハイイヌガヤ、オオコメツツジ、ミネカエデ、ナナカマド、アオモリトドマツ、アカミノイヌツゲ、キヤラボク、ムシカリ、ミネヤナギ、オオバスノキ、ウスノキ、ツルツゲ、ダケカンバ、ヒメハナヒリノキ、ブナ、ヤハズハンノキ、

〔 草 本 類 〕

ゼンテイカ、イワシヨウブ、モウセンゴケ、イワカガミ、ミツバオオレン、イワイチヨウ、エゾリンドウ、カリヤス、コバイケイソウ、シヨウジョウバカマ、ゴゼンタチバナ、マイズルソウ、アキノキリンソウ、ササユリ、ツマトリソウ、ミカズキグサ、エゾホソイ、ミヤマホタルイ、ツルリンドウ、スゲsp.

〔 羊 歯 類 〕

マンネンスギ、ヒカゲノカズラ、オオバシヨリマ、シラネワラビ、タカネサトメシダ、赤池は小さい湿地で、池の中にはミカズキグサ、ミヤマホタルイ

池の近くには、イワイチヨウ、ゼンテイカ、イワカガミ、ゴゼンタチバナ、ミツバオオレン、

マイズルソウ、カリヤス、コバイケイソウ、ミネヤナギ、ダケカンバ、ヒメハナヒリノキ等が見られた。10日、赤池～経ヶ岳間の主な植物は、

〔木 本 類〕

ブナ、ダケカンバ、アカミノウスツゲ、ミネカエデ、ムシカリ、リョウブ、コシアブラ、ナナカマド、マルバマンサク、ハクサンシヤクナゲ、アカモノ、ノリウツギ、コミネカエデ、ハウチワカエデ、イヌツゲ、ヤマウルシ、オオハナヒリノキ、ムラサキヤシホ、ホツツジ、ミヤマシグレ、オオバスノキ、バイカウツギ、シモツケ、ヤハズハンノキ、ツルツゲ、ドクウツギ、

〔草 本 類〕

ノギラン、ノリクラアザミ、ハクサンアザミ、エゾホソイ、ツルタチツボスミレ、アキノキリンソウ、オトギリソウ、ゴゼンタチバナ、イワカガミ、1600分岐の下には、カラマツソウ、マツムシソウ、タテヤマオウギ、イワテトウキ、ホソバイブキボウフウ、シナノオトギリ、タテヤマウツボ、イワカガミ、ミヤマコゴメグサ、ヒゴオミナエシ、シラネニンジン、エゾオヤマリンドウ、ミヤマダイモンジソウ、カライトソウ、イブキゼリ、ヨツパヒヨドリ等があった。ここは今年再調査したいと思っている。

〔羊 歯 類〕

ミヤマシシガシラ、ホソバトウゲシバ、ミヤマメシダ、シラネワラビ、オオバシヨリマ、オサシダ、

池の大沢、ブナの原生林で、ブナ、ミズナラの大木の下に小湿地が点在している。湿地内の主な植物は、カリヤス、スゲSP、カラマツソウ、オノエヤナギ、メタカラコウ、エゾホソイ、アギスミレ、ヤマハナワラビ、アカバナ、エゾシロネ、オニシモツケ、ヤハズハンノキ、ミヤマトウバナ、ハクサンアザミ、サラシナシヨウマ、サワフタギ、エゾアブラガヤ、エゾリンドウ、シラヒゲソウ、シラネセンキュウ、ヒメヨツバムグラ、サトメシダ、カラクサイヌワラビ、ホソバイヌワラビ、ジユウモンジシダ、シケチシダ、カラクサイノデ、ミヤマメシダ、ヤマハナワラビ、キョウタキシダ、ヤマイヌワラビ等が見られた。また付近には、アカミノウスツゲ、ブナ、ムシカリ、ナナカマド、オクモミジハグマ、ヒメモチ、ハウチワカエデ、ムラサキヤシホ、ノリウツギ、シノブカグマ、ハクモウイノデ、オオバユキザサ、ツルリンドウ、ハイイヌガヤ、タニギキョウ、シラネセンキュウ等が確認できた。

池の大沢へしろべえ屋敷間の主な植物。ブナ林の林床には、オオバクロモジ、ミヤマイボタ、マンサク、ムシカリ、タマアジサイ、トチバニンジン、オオカニコウモリ、オシダ、ハクサンカメバヒキオコシ等が見られた。

○唐沢の周囲には、ハイイヌガヤ、ヤマブドウ、ドクウツギ、マタタビ、ヨグソミネバリ、ウツギ、キブシ、クロバナヒキオコシ、タニウツギ、ダケカンバ、ツノハシバミ、クマシデ、オオモミジ、ヤマモミジ、リヨウブ、サイゴクミツバツツジ、ヤマツツジ、アラゲアオダモ、サワグルミ、トチノキ、ツルニンジン、ミヤマイラクサ、リヨウメンシダ、マルバフユイチゴ、ウワバミソウ、ダイモンジソウ、ツルネコノメソウ、ホクリクネコノメソウ、イタヤカエデ、ミズナラ、ウリノキ、シナノキ、ミヤマハハソ、オオハナウド、コチャルメルソウ、サンインヒキオコシ、アカソ、モシジイチゴ、カガノアザミ、ルイヨウボタン、ヒカゲミツバ、サンヨウブシ、コナスビ、フツキソウ、ヒメキンミズヒキ、シオガマギク、ネズミガヤ、キケンシヨウマ、ヤマジノホトトギス、エゾリンドウ等が見られた。

前々から考えていたことであるが、3日間国体Aコースを歩いて、赤池、池の大沢、千六百分岐点の下、このあたりは再調査してフロラを解明したいという念願を更に強めた。

尚、ミヤマホタルイ、エゾホソイは本県初記録である。